

1	Track 02…『……おちんちん、見てみたいな』
	正面・遠め（マイクに背を向ける）
	（hmt_0041）ほむら「……お願い、ゴムつけて？ 今日のは危ない日なの。 ……だ、ダメだつてば生はっ」
	※SE…ドアノック
	正面・遠め（マイクを振り返りながら）↓マイクに近付きながら
	（hmt_0042）ほむら「……あ、はい！ ちょっと待ってね……よいしょっ。 ……どうぞっ？」
	※SE…ドア開く
	正面・近め↓マイクに背を向けて遠ざかる
	（hmt_0043）ほむら「台本のチェックで、色々散らかっててごめんね。 適当に座って？」
	※SE…ベッド軋み
	正面・遠め（しやがみながら）
	（hmt_0044）ほむら「……ああつ、これは違うのっ。ちょっとお口の演技で、 いい音が出せないかなと思って研究中で……」
	（hmt_0045）ほむら「作り物なのに、結構グロテスクで驚いたでしょ？ お姉ちゃんも、デイルドなんて買ったの初めてだから、 なんか持て余してて……」
	（hmt_0046）ほむら「あ……もちろん、他のことには使っていないよ？ 男の人としたことないのに、最初の相手がこんな…… シリコン素材のだから悲しいし……」
	（hmt_0047）ほむら「……なんか、弟が相手でも、こういうの見られると 恥ずかしいね。さっきからすごい顔が熱いもん……」
	正面・遠め（立ち上がりながら）
	（hmt_0048）ほむら「それでどうしたの？ お姉ちゃんに何か用事……？」
	正面・近め（近付きながら）
	（hmt_0049）ほむら「……なにに？ そんな恥ずかしそうにして…… もしかして、恋の相談とか？」

	正面・近め↓左耳・近め（移動しながら）
	（ hmt_0050 ） ほむら「 照れてないで聴かせてよ。お姉ちゃんなりに、何かアドバイスできるかもしれないし……」
	（ hmt_0051 ） ほむら「 あと最近、目を見て話さないのはなんで？」
	正面・近め（顔を覗き込みながら）
	（ hmt_0052 ） ほむら「 ……ほら、ちゃんと顔をこっちに向けて？」
	（ hmt_0053 ） ほむら「 ふふっ、このまま睨めっこする？ そっちが負けたら、お姉ちゃんの言うことをなんでも聴くってのはどう？」
	（ hmt_0054 ） ほむら「 ていうか、もう笑ってるじゃん。 はい、お姉ちゃんの勝ち」
	正面・通常（少し離れる）
	（ hmt_0055 ） ほむら「 罰ゲームとして、おちんちん見せてもらっちゃおうかな。……なんてウソウソっ。お姉ちゃんちよとしっこいいよね」
	※SE…ズボンを脱ぐ
	正面・近め（近付きながら）
	（ hmt_0056 ） ほむら「 ……へ？ ええっ！？ ああっ、ストップストップ！ズボン脱がなくていいからっ……ちよっと、ねえっ！」
	（ hmt_0057 ） ほむら「 とりあえず、落ち着こ？ 男の人が、そんな簡単に……見せたら……ダメだってば……」
	顔を動かしながら（恥じらいつつ）
	（ hmt_0058 ） ほむら「 それに……本当に見せてもらえるなら……きちんと、お姉ちゃんが脱がしてあげたいし……ほら、雰囲気って大切でしょ？ そういの……」
	（ hmt_0059 ） ほむら「 ……うう、せっかく忘れようとしてたのに、また見なくなっちゃったじゃん……」
	（ hmt_0060 ） ほむら「 ……ねえ、さっきの本気だったの？ お姉ちゃんに……おちんちん、見せてくれようとしたの……」
	（ hmt_0061 ） ほむら「 じゃあ……さ……脱がすところから始めてもいい？ あと、ズボンの上からでもいいから触ってみたい……」
	（ hmt_0062 ） ほむら「 今だけ……お姉ちゃんをカノジヨだと思って？ わたしも、恋人っぽくがんばってみるから……」

正面・近め（前ページからの続き）

（hmt_0063）ほむら「もお、姉貴じゃなくて美咲って呼ぶの。……いつもの呼び方じゃ、近親相姦になっちゃうでしょ？」

（hmt_0064）ほむら「……なんか、めっちゃ照れてるじゃん。オトナになっても、まだそういうかわいいところ、あったんだ……」

（hmt_0065）ほむら「実際に彼氏を作るなら、そういうピュアな人がいいな……役者やってる人とか遊んでそうな人が多くて苦手なの」

右耳・近め（移動しながら）

（hmt_0066）ほむら「……触ってみてもいい？嫌だったら、我慢しないで言ってね……」

※SE：ズボンすりすり

（hmt_0067）ほむら「……ん……ん……あ、すごい……ズボンの上からでも、おちんちんの形……わかるんだ……」

（hmt_0068）ほむら「……痛くない？お姉ちゃん、まちがったことしてないよね？」

（hmt_0069）ほむら「あ……自分でもお姉ちゃんって言っちゃった……。もういつか……近親相姦でも……実際にするわけじゃないし……ね？」

右横からペニスを覗き込むように

（hmt_0070）ほむら「……でも、まだこれって……おつきしてない状態だね？おちんちん、おつきできる……？お姉ちゃんの手で……おつきちゃう？」

右耳・近め

（hmt_0071）ほむら「ふふっ、モジモジしてるのかわいい……。このまま、お姉ちゃんにガチ恋させちゃおっかな」

右横からペニスを覗き込むように（しゃがむこむ）

（hmt_0072）ほむら「……ほら……おちんちん、硬くなってきた……。恥ずかしいね……。またお姉ちゃんの目を見られなくなっちゃったね……」

（hmt_0073）ほむら「でもそっか……こういうことなんだ……」

	正面・近め（しゃがんだ状態から立ち上がりながら）
	<p>（ hnt_0074）ほむら「あ……えつとね、去年ゲームで演じたヒロインが、主人公のおちんちんを触って、おつきになってくれると嬉しいって言ってたの」</p> <p>（ hnt_0075）ほむら「お姉ちゃんも、今そんな気持ち……自分が必要とされてる感じがして……すごくいい……」</p>
	左耳・近め（左頬にキスするイメージ）
	<p>（ hnt_0076）ほむら「……ちゅっ。ふふっ……かわいいって思ったら、自然とこういうこともできちゃうんだ……」</p>
	正面・近め
	<p>（ hnt_0077）ほむら「頬つぺたにキスするの嫌だった？それとも……本気でお姉ちゃんにガチ恋しそう？」</p> <p>（ hnt_0078）ほむら「そんなに、キョドらなくても平気だってば……恥ずかしがってる間に、おちんちんこんなにおつきくなっちゃったよ……？」</p>
	しゃがみながらうつむく
	<p>（ hnt_0079）ほむら「……窮屈そうだから、お姉ちゃんがズボン脱がしてあげるね。少しか、お尻……浮かせてくれる？」</p> <p>（ hnt_0080）ほむら「ん……んしょ……あれ、脱げない……ああっ、どうしよう。おちんちん、パンツに引っかかっちゃってるっ……」</p> <p>（ hnt_0081）ほむら「ごめんね、ちょっと中に、手……入れさせてもらって……うん……しょ……えいっ……！」</p>
	※SE：おちんぽ、お腹にビタン！
	しゃがみながら顔を上げる
	<p>（ hnt_0082）ほむら「わあ、びっくりした！？ え、ええっ……おちんちんって、こんなに勢いよく反り返るの！？すごい音したよ、ビタン！ って……」</p> <p>（ hnt_0083）ほむら「……ていうか……これ……めっちゃ、大きくない？子供の頃に、お風呂で見たのと違いすぎて……反応に……困るんだけど……」</p> <p>（ hnt_0084）ほむら「……オトナのおちんちんって……こんなに……すごいんだ……」</p>

しやがみながら顔を上げる（前ページからの続き）

（hmt_0085）ほむら「ほら……このデイルド、おっきめのを買ったのに……
太さも長さも……負けてない……よね？」

（hmt_0086）ほむら「血管もボコボコ浮き上がって……すく……熱い……
ねえ、外見とのギャップすごい？」

しやがみながらうつむく（恥じらい）

（hmt_0087）ほむら「あんなに恥ずかしそうに、モジモジしてたのに……
おちんちは……さ……こんなに……
オトナというか……グロテスクというか……」

（hmt_0088）ほむら「お姉ちゃんの方が年上なのに、なんかかしこまっちゃう……
しばらく見ない間に……こんな風になってたんだ……」

しやがみながら顔を上げる

（hmt_0089）ほむら「……もしかして、だけど……普通の人より、
おちんちん大きかったりする？
他の人って、どのぐらいの大きさなんだろう……」

しやがみながらうつむく

（hmt_0090）ほむら「……直接、触っても平気？
手が乾いてると、摩擦で痛いかな……」

※SE…手コキ音

（hmt_0091）ほむら「ん……んん……ああ、すく……どうしょ、これ……
お姉ちゃん、手コキしちゃってるんだよね？
弟のおちんちんで……手コキ……」

立ち上がりながら

（hmt_0092）ほむら「……どうしたの？ さっきから、ぼうつとしちゃって……
お姉ちゃんにおちんちん触られるの気持ちいい？」

右耳・囁き

（hmt_0093）ほむら「うん……うん……そっか……顔だけ見ても、
気持ちいいんだろうなあって思ってた……」

（hmt_0094）ほむら「……ちゅっ。じっとしてて……
なんか……もっと、ぼうつとさせたくなっちゃった……」

	正面・キスを顔中に散らすイメージ（左右に動きながらキス）
	<p>（ hnt_0095 ） ほむら「ちゅっ、ちゅっ……ちゅっちゅっちゅっ。お姉ちゃん、キス魔なのかな……」</p> <p>自分が自分じゃないみたい……不思議な感じ……」</p>
	<p>（ hnt_0096 ） ほむら「でも……さすがに唇でするのはダメだよね……興味本位でやっていいことと悪いことがあるし……」</p>
	<p>（ hnt_0097 ） ほむら「……初めてのキスの相手は弟ですなんて、ラジオでもネタにできないもん……」</p>
	<p>しゃがみながらうつむく</p>
	<p>（ hnt_0098 ） ほむら「あ……おちんちんの先が濡れてきてる……ふふっ、お姉ちゃん知ってるよ？」</p> <p>これ、我慢汁って言うんだよね？」</p>
	<p>（ hnt_0099 ） ほむら「わあ……すごい……どんどん溢れてくる……でも、これでヌルヌルになったせいで触りやすくなったかも……」</p>
	<p>※S E：手コキ（水音）</p>
	<p>右耳・囁き（移動しながら）</p>
	<p>（ hnt_0100 ） ほむら「ほら……耳を澄ましてみて？ おちんちんからどんな音してる？」</p> <p>これ……この音……聴こえてるよね？」</p>
	<p>（ hnt_0101 ） ほむら「ちゅっ……ちゅっ……そのぼうつとしてる顔、好き……愛おしいって思うの……弟が相手でもこうなんだから、これが彼氏だったら……どうなっちゃうのかな……」</p>
	<p>（ hnt_0102 ） ほむら「お姉ちゃん……もしかしたら……すぐエッチなのかも……もちろん、こういうことには興味あつたし……」</p> <p>自分がやりたいから、</p> <p>18禁ゲームの声優にもなったわけだけど……」</p>
	<p>（ hnt_0103 ） ほむら「さっきから、おちんちん触っても全然嫌じゃないの……むしろ……触るの、好きかもって……」</p>
	<p>（ hnt_0104 ） ほむら「あ……違うからね？ 弟にガチ恋したとかじゃなくてっ……そういうことでは……ないんだけど……」</p>
	<p>（ hnt_0105 ） ほむら「……でも、愛おしいっていう気持ちはほんとだよ？ もう一度、お姉ちゃんの目を見てみて……っ？」</p>

右耳↓正面・近め（移動しながら）

（ hmr_0106 ） ほむら「 ……ちゅっ。頬っぺに、ちゅーは飽きた? 」

（ hmr_0107 ） ほむら「 んじゃあ……唇と唇でしてみる? お姉ちゃんのファーストキス、奪ってみてよ 」

（ hmr_0108 ） ほむら「 してくれなきゃ……おちんちん、ずうっと「うしちゃうよ」

（ hmr_0109 ） ほむら「 お姉ちゃん、最初の時より手コキ上手くなったでしょ? 触つてると、わかるの…… どうやったら男の人が気持ちいいかとか…… 」

左耳・囁き（移動しながら）

（ hmr_0110 ） ほむら「 どんな風に触れば……ふふっ、今みたいにかわいい声が出ちゃうかとか…… 」

正面・近め（移動しながら）

（ hmr_0111 ） ほむら「 ……ねえ、キスしてくれないの? 男らしく、お姉ちゃんの唇、奪ってみてよ 」

右耳・囁き（移動しながら）

（ hmr_0112 ） ほむら「 それとも……このまま、ずうっと手コキしてほしい? ……ツバつけたら、もっと気持ちよくなるかな 」

※手コキ（濡れ音・強）

（ hmr_0113 ） ほむら「 ……ああ、すっ「い」…… さっきより、もっとヌルヌルになって、おちんちん悦んじやってる…… 」

（ hmr_0114 ） ほむら「 ちゅっ、ちゅっ……いいよ、もっと声だして…… 気持ちよくて、どうにかなっ ちやいそうなんでしょ? 」

（ hmr_0115 ） ほむら「 ……わかるよ。こうやっておちんちんを触つてるとお…… みんな、わかっちゃうの 」

（ hmr_0116 ） ほむら「 我慢しないで出していいよ? お姉ちゃんに射精するところ見せてよ。 どうする? おちんちん、もっと激しくする? 」

（ hmr_0117 ） ほむら「 そんな風に我慢するなら、もっとツバつけちゃう…… 」

（ hmr_0118 ） ほむら「 ほら……すごい音してるね…… もう、おちんちん爆発しそうになってるじゃん…… 」

<p>右耳・囁き（前ページからの続き）</p>	<p>（ hmt_0119）ほむら「 いいんだよ、気持ちよくなつて……自分のことだけ、考えればいいの……お姉ちゃんの唇を奪えだなんて、優しい弟に言うことじゃなかっ——」</p>
<p>右耳↓正面・近め（移動しながら）</p>	<p>（ hmt_0120）ほむら「 んっん、んん！？ ちゅっ、んんっ……んっ！？ ん、ちゅっ、はあっ……んっ、おねえひゃんからもっ、しゅるっ……ん、ちゅっ、ちゅっ、はあ、れろっ、ん、ちゅっ、ぴちや、れろっ……ちゅう……」</p> <p>（ hmt_0121）ほむら「 ん、ちゅっ、はあ、んんっ……れろっ、ぴちや、れろっ……ちゅう、んっ、んんっ！？ んっん！？ んんんっ！」</p> <p>※SE…射精</p> <p>（ hmt_0122）ほむら「 ちゅっ、はあっ……待つふえっ、おひんひんからっ……れちやってるっ……んっ、ちゅっ、んっん！？ んっん、ちゅっ、んんっん！？ んんんんっ！？」</p> <p>（ hmt_0123）ほむら「 ん、ちゅっ……ちゅう……んん……はあ……はあ……ん……は、初めてのキスなのに……激しすぎない？ 普通、いきなり舌挿れてくる？？」</p>
<p>正面・しゃがみながらうつむく</p>	<p>（ hmt_0124）ほむら「 それに……お姉ちゃんが見てない間に、おちんちんから出しちゃってるし……」</p> <p>（ hmt_0125）ほむら「 ……射精するところ、見たかったのになあ。 しかも……キスだって、完全に不意打ちだったし……」</p> <p>（ hmt_0126）ほむら「 怒ってはないけど、残念だなっていう話」</p>
<p>正面・立ち上がりながら</p>	<p>（ hmt_0127）ほむら「 ……でもどう？ お姉ちゃんにガチ恋しちゃった？」</p> <p>（ hmt_0128）ほむら「 ふふっ、冗談。 このことは、お母さんたちには内緒だからね？」</p> <p>（ hmt_0129）ほむら「 ……おかげで、明日から今までと違った演技ができそう」</p> <p>（ hmt_0130）ほむら「 あと、ラジオでも少しだけ自信が持てそうだし……」</p>

正面↓左耳・囁き

（hm_0131）ほむら「やっぱり、持つへきは弟だね。ありがと、ちゅっ。」

※トラック3へ